## 令和５年度（２０２３年度）八代高等学校シラバス

| 教　科 | 家庭 | 科　目 | 家庭基礎 |
|---|---|---|---|
| 学年・類型 | １学年・全 | 単位数 | ２ |
| 教科書 | 家庭基礎　自立・共生・創造（東京書籍） | | |
| 副教材 | 2023 年度家庭科学習ノート（熊本県版） | | |
| 科目目標 | 人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、生涯を通して課題を解決する力を養い、人々と協働し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を育てる。 | | |
| 学習方法 | 授業で身につけた知識や技術を日常生活で生かし、日々の生活の改善・充実に努めるようにする。実習や課題に際しては、沈黙と集中をもって取り組み、安全に、かつ必要に応じて周囲と協力して進める。各課題においては、課題の提出については期限内に提出する。 | | |

| 評価の観点 | | |
|---|---|---|
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。 | 生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。 |

| 評価方法 | | |
|---|---|---|
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ①定期考査（知識・技能の定着状況を評価する問題を出題）<br>②知識・技能に関する確認課題 | ①定期考査（思考・判断・表現について評価する問題を出題）<br>②ワークシート、ノート、作品、ホームプロジェクト等課題 | ①授業におけるワークシート・ノート等の提出状況<br>②作品、ホームプロジェクト等課題の提出状況 |

| 各学期及び学年の成績算出方法について |
|---|
| ・定期考査は各学期の期末考査のみ実施します。<br>・各学期の成績は１００点満点で評価する。<br>・観点別評価の割合は次のとおりである。<br>　知識・技能　４０％<br>　思考・判断・表現　４０％<br>　主体的に学習に取り組む態度　２０％<br>・学年成績は１学期から３学期までの評点を平均し、５段階で評価する。 |

| 学期 | 学習内容 | 評価規準（到達目標Ｂ規準）と到達度チェック（自己評価） | | | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | |
| 1学期 | 学習の進め方について<br>学校家庭クラブについて<br><br>第１章　生涯を見通す<br>○ライフプラン作成<br>○自立度チェック | □　生涯発達の視点から、自己と他者、社会との関わりや各ライフステージの特徴と課題を理解している。<br>□　必要な情報の収集と整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応した意思決定することの重要性について理解を深めている。 | □　生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について思考を深め、考察したことを論理的に表現している。 | □　これから学習を主体的に取り組もうとしているか。<br><br>□　様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | 知①<br>知②<br>知③<br>思①<br>思②<br>思③<br>主①<br>主②<br>主③ |
| | 第２章　人生をつくる<br>○生活時間調査<br>○家事労働の分担 | □　生涯発達の視点で青年期の課題を理解している。<br>□　家族・家庭の機能と家族関係について理解を深めている。<br>□　家族・家庭生活を取り巻く社会環境および法律の変化や課題について理解を深めている。<br>□　家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。 | □　家庭や地域のよりよい生活を創造するために､男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想するなど、思考を深め、考察したことを論理的に表現している。 | □　様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | 知①<br>知②<br>知③<br>思①<br>思②<br>思③<br>主①<br>主②<br>主③ |
| | 第７章　衣生活<br>○実習「基礎縫い」 | □　ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解している。<br>□　被服材料について理解している。<br>□　保有する被服の有効な活用や補修、生活者として自立する上で必要な技能を身につけている。 | □　被服の文化や資源について理解を深め、考察したことを論理的に表現している。<br>□　持続可能な社会を目指して、安全で安心な衣生活と消費について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。 | □　様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | 知①<br>知②<br>知③<br>思①<br>思②<br>思③<br>主①<br>主②<br>主③ |
| | 第６章　食生活をつくる<br>○実習「食物技術検定４級相当の力をつける」<br>○食生活チェック<br>○献立作成 | □　健康や環境に配慮した食生活について理解している。<br>□　食品衛生について理解している。<br>□　ライフステージに応じた栄養の特徴について理解している。 | □　食品の調理上の性質について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど | □　様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しよう | 知①<br>知②<br>知③<br>思①<br>思② |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | □ 食品の栄養的特質について理解している。<br>□ 食品の調理上の性質について理解している。<br>□ ライフステージに応じた栄養の特徴について理解している。<br>□ 自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身につけている。<br>□ おいしさの構成要素について理解している。<br>□ 目的に応じた調理に必要な技能を身につけている。 | して課題を解決する力を身につけている。<br>□ 食の安全について理解を深め、考察したことを論理的に表現している。 | とするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | 思③<br>主①<br>主②<br>主③ |
| | ○ホームプロジェクトの実施計画 | □ ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。<br>□ 実践に必要な情報の収集と整理を行い、生活課題に対応した意思決定することの重要性について理解を深めている。 | □ 自己の家庭生活や地域の生活と関連づけて生活上の問題について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践する計画を立てることができる。<br>□ 実施計画を評価・改善し、実践に必要な実態調査や調べ学習したことを論理的に表現している。<br>□ 実践し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 | □ 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | 知③<br>思②<br>思③<br>主①<br>主②<br>主③ |
| 2学期 | ○ホームプロジェクトの発表 | □ ・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動を実施した成果を伝える技能を身につけている。 | □ 自己の家庭生活や地域の生活と関連づけて生活上の問題について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 | □ 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | 知③<br>思②<br>思③<br>主①<br>主②<br>主③ |
| | 第７章３　衣生活 | □ 被服構成について理解している。<br>□ 被服衛生について理解している。<br>□ 被服の計画・管理に必要な技能を身につけている。 | □ 被服の機能性や快適性について理解を深め、考察したことを論理的に表現している。 | □ 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善し | 知①<br>知②<br>知③<br>思① |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | □ 健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。 | | たりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | 思②<br>思③<br>主①<br>主②<br>主③ |
| | 第３章　子どもと共に育つ<br>〇妊婦体験・保育体験 | □ 乳幼児期の心身の発達と生活について理解している。<br>□ 親の役割と保育について理解している。<br>□ 乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身につけている。<br>□ 子どもや高齢者を取り巻く社会環境について理解している。<br>□ 子育て支援について理解している | □ 子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について理解を深め、考察したことを論理的に表現している。 | □ 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子どもの生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | 知①<br>知②<br>知③<br>思①<br>思②<br>思③<br>主①<br>主②<br>主③ |
| | 第４章　超高齢社会を共に生きる<br>〇車いす体験 | □ 高齢者を取り巻く社会環境について理解している。<br>□ 高齢期の心身の特徴について理解している。<br>□ 高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解している。<br>□ 生活支援に関する基礎的な技能を身につけている。 | □ 高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について理解を深め、考察したことを論理的に表現している。 | □ 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | 知①<br>知②<br>知③<br>思①<br>思②<br>思③<br>主①<br>主②<br>主③ |
| | 第５章　共に生き、共に支える<br>〇家族を支える社会システム | □ 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。<br>□ 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 | □ 他世代に関する学習を踏まえつつ、家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 | □ 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | 知①<br>知②<br>知③<br>思①<br>思②<br>思③<br>主①<br>主②<br>主③ |
| | 第７章　経済生活を営む<br>〇ライフサイクルゲーム<br>〇私の命を育んだお金 | □ 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費行動における意思決定について理解してい | □ 自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することについて | □ 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、課題の解決に主 | 知①<br>知②<br>知③ |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | る。<br>□ 生活情報を適切に収集・整理できる。<br>□ 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう契約の重要性について理解している。<br>□ 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費者保護の仕組みについて理解している。<br>□ 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題について理解している。<br>□ 家計の構造と家計管理について理解している。<br>□ 生活における経済と社会との関わりについて理解している。 | 問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。<br>□ 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について理解を深め、考察したことを論理的に表現している。<br>□ 責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 | 体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 | 思①<br>思②<br>思③<br>主①<br>主②<br>主③ |
| | 第８章　住生活をつくる<br>○間取りの読み方<br>○ライフステージと住まい | □ 住生活の変遷や文化、住居の機能について理解している。<br>□ 健康で快適な住生活に必要な情報の収集・整理ができる。<br>□ 適切な住居の計画・管理に必要な技能を身につけている。<br>□ ライフステージに応じた住生活の特徴について理解している。<br>□ 防災などの安全や健康な住生活、環境に配慮した住居の機能について理解している。 | □ 住居の機能性や快適性について理解を深め、考察したことを論理的に表現している。<br>□ 住居と地域社会との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。<br>□ 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な住生活と消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 | □ 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | 知①<br>知②<br>知③<br>思①<br>思②<br>思③<br>主①<br>主②<br>主③ |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ３学期 | 第１０章　持続可能な生活を営む<br>第１１章　これからの生活を創造する<br>〇学校家庭クラブ活動<br>　雑巾作り、アクリルたわし作り | □　生活と環境との関わりについて理解している。<br>□　持続可能な消費について理解している。<br>□　持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。<br>□　人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。<br>□　自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。 | □　持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について理解を深め、考察したことを論理的に表現している。<br>□　生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し､解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 | □　様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。<br>□　様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | 知①<br>知②<br>知③<br>思①<br>思②<br>思③<br>主①<br>主②<br>主③ |